



2022年12月19日

各 位

会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 浩一
(コード番号：9790 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 橋本 彰
(TEL. 0776-53-9200)

令和5年度“BIM/CIM 原則適用”を支援する「TREND-CORE」最新版の発売

当社連結子会社である福井コンピュータ株式会社(本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田直)では、下記の通り建設インフラ事業の主要製品である CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」の最新版を2023年1月24日に発売いたします。

▶ ポイント

TREND-CORE 最新版 Ver.9 では、下記2点をポイントとしております。

1. BIM/CIM※1の原則適用を支援するため、3次元モデル成果物作成要領(案)に記載されている「階層化したオブジェクト分類」への対応を行います。
2. 公共工事のライフサイクル全体における生産性を向上するため、BIM/CIMにおいて納品が必須となっている IFC※2 データの入出力の改良を行い、3次元モデルデータの読み込みと書き込みにおいて更なる高精度化を図ります。

※1：Building/Construction Information Modeling, Management の略で、建築・建設ライフサイクル全体でモデルに蓄積された情報を活用するワークフローの概念。

※2：Industry Foundation Classes の略で、建設業界における各種ソフトウェア間のデータ共有化と相互運用のために仕様が定義されている、オープンな CAD フォーマット。

▶ 本取り組みの背景

- ◇ 国土交通省では、インフラ分野の DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進の一環として、令和5年度より小規模工事を除く全ての公共工事における BIM/CIM 原則適用を掲げており、3次元モデル成果物作成要領(案)などの基準整備を急速に進めております。
- ◇ インフラ分野における深刻な人手不足の懸念から、国土交通省では ICT 技術の活用等による建設現場の生産性向上を目指し i-Construction※3 や BIM/CIM の活用を推進しております。

※3：ICT の活用で、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組み。

弊社では、建設業界全体の支援を目的に、環境変化に迅速に対応しながら生産性向上に寄与する製品の提供に努めております。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

2022年12月19日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」の最新版を 2023年1月24日（火）リリース

～令和5年度“BIM/CIM 原則適用”を支援する機能を新たに搭載～

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、令和5年度からの BIM/CIM^{※1} 原則適用を支援する機能を新たに搭載した、BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」の最新版となる Ver.9 を、2023年1月24日（火）にリリースいたします。

国土交通省では、インフラ分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一環として、令和5年度より小規模工事を除く全ての公共工事における BIM/CIM 原則適用を掲げており、3次元モデル成果物作成要領（案）などの基準整備を急速に進めております。

今回リリースする最新版では、3次元モデル成果物作成要領（案）に記載されている「階層化したオブジェクト分類」への対応を図ると共に、BIM/CIM において納品が必須となっている IFC^{※2} データの入出力の改良を図り、3次元モデルデータの読み込みと書き込みにおいて更なる高精度化を図っております。その他にも処理速度の高速化や既存機能のブラッシュアップを行っております。

※1：Building/Construction Information Modeling, Management の略で、建築・建設ライフサイクル全体でモデルに蓄積された情報を活用するワークフローの概念。

※2：Industry Foundation Classes の略で、建設業界における各種ソフトウェア間のデータ共有化と相互運用のために仕様が定義されているオープンな CAD フォーマット。

【TREND-CORE Ver.9 の概要】

- 3次元モデル成果物作成要領（案）への対応
 - オブジェクト階層化（ツリー表示）
 - オブジェクト分類等の属性情報付与
- IFC 読み込み改良
 - IFC クラス分類取込み
 - レイヤ情報取込み
- その他機能
 - 境界面オブジェクト機能を追加
 - 「ダブル断面」の作成に対応
 - 3D 部品を 115 点追加 ほか

※詳細は次頁参照ください。

【リリース日】 2023年1月24日（火）

【価格】 ¥600,000～（税別）



【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業企画課 担当：牧野
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

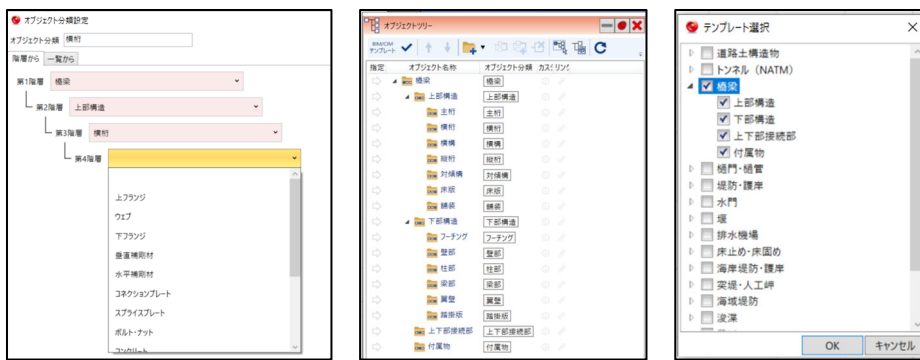
【TREND-CORE Ver.9 の機能】

● 3次元モデル成果物作成要領（案）への対応

- 要領（案）で示されている、オブジェクトの階層および分類に準拠したツリー構造に対応しました。
- 要領（案）に示されるテンプレートから階層を自動で作成します。オブジェクト分類もテンプレートから選択して設定することが可能で、効率的に入力できます。
- 3次元モデルの各オブジェクトに対し、要領（案）で示されているオブジェクト分類等の属性情報を付加できるようになりました。



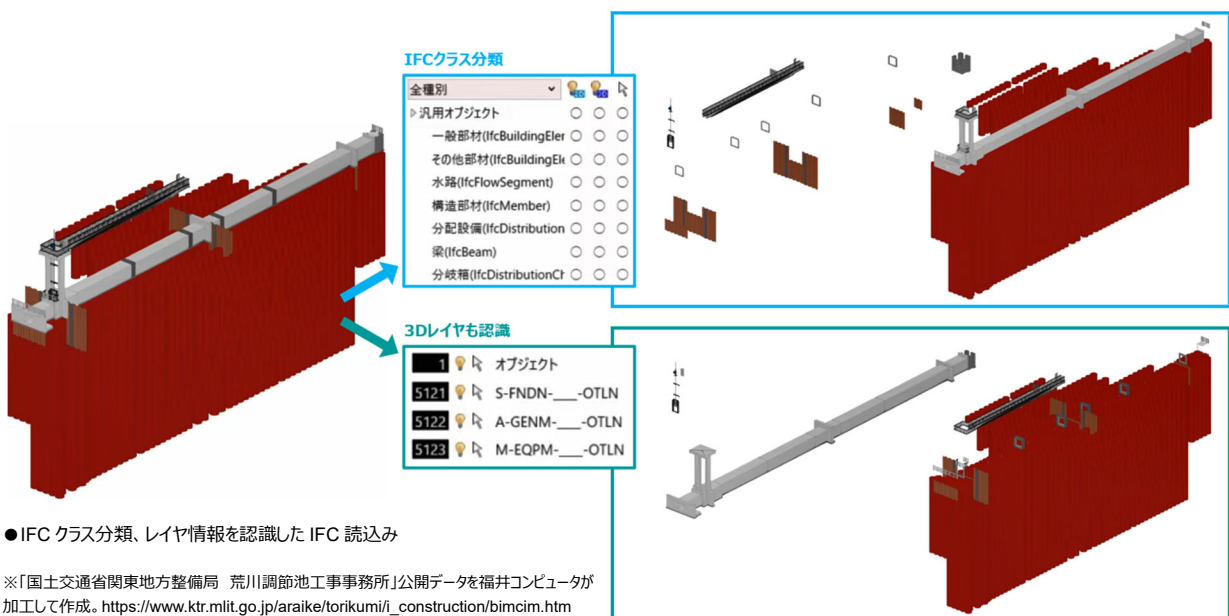
● ツリー構造のオブジェクトリストと、モデルの各オブジェクトへの情報付加



● 階層やオブジェクト分類は、テンプレートから簡単に設定

● IFC 読み込み改良

- IFC クラス分類毎の取込みに対応し、設計者の作成意図通りの取込みが可能です。
- レイヤ情報を含む IFC ファイルにおいて、設計ソフトウェアのレイヤ情報の取込みに対応しました。
- また読み込み速度について、従来の 150%程度のパフォーマンスアップを図っております。

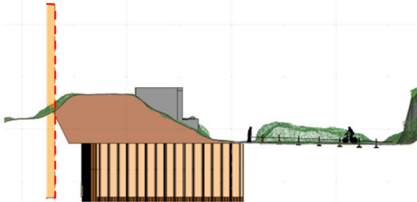
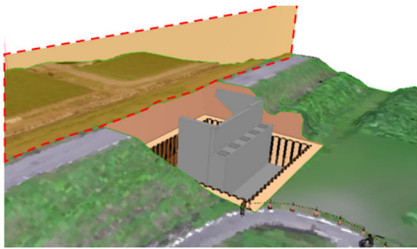


● IFC クラス分類、レイヤ情報を認識した IFC 読み込み

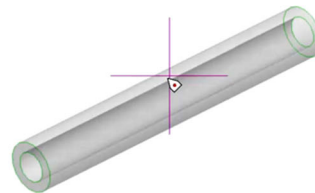
※「国土交通省関東地方整備局 荒川調節池工事事務所」公開データを福井コンピュータが加工して作成。 https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim.htm

● その他機能

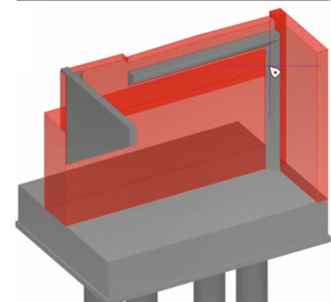
- 用地境界など境界を表現する「境界面オブジェクト」を新たに追加しました。施工を行う用地の範囲を視覚的に表示することができます。IFC 出力時にはサーフェスとして出力されます。
- 円盤形状のスweep体を作成する機能を追加。既存のスweep体とは異なり半径、孔のパラメータを持つ Ifc Swept Disk Solid として出力します。
- 計測ツール内に、体積計測コマンドを追加しました。（対象：汎用オブジェクト、擁壁、ブロック、側溝、柵・マンホール、縁石、分離帯、埋設）



●境界面オブジェクト

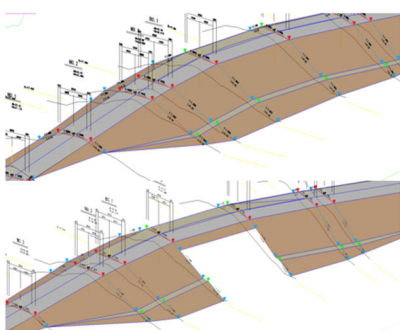


●円盤形状スweep体



●体積計測コマンド

- 測点の前後で断面が大きく異なる場合などに有効な、「ダブル断面」の作成に対応しました。
- 3D 部品を新たに 115 点追加しました。
- BIM/CIM モデル等電子納品要領（案）令和 4 年 3 月版に対応しました。
- スナップや描画時における処理速度を高速化しました。
- その他、ユーザーからの要望など、既存機能のブラッシュアップを図っております。



●ダブル断面の作成



●3D 部品の追加

TREND-CORE Ver.9 の新機能ダイジェストを動画で公開しています。

<https://youtu.be/UBgT8elyWy8>



以上